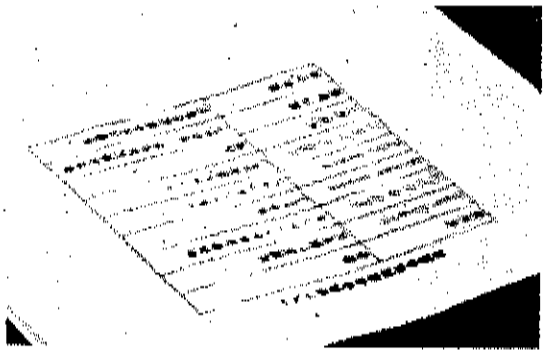
3/28 朝日

首相と面会、教団系6人同席

19年 元米下院議長ら8人中

岸田文雄首相が自民党政調会長だった2019年、党本部でニュート・ギングリッチ元米下院議長と面談した際、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の友好団体トップが同席していた問題で、面会者は8人で、うち6人が友好団体の関係者だったことがわかった。関係者が取材に証言し、当時撮影された写真にも参加者のリストと思われる書類が写っていた。

自民党本部で2019年10月4日、当時の岸田文雄・党政調会長（左）がUPFインターナショナルのマイケル・ジェンキンス会長と名刺交換する様子が写った写真。岸田氏の前の机にはリストとみられる書類が置かれていた＝ギングリッチ元米下院議長提供



机に置かれた参加者のリストとみられる書類＝ギングリッチ氏提供写真から（画像の一部を加工しています）

岸田氏は党政調会長だった19年10月4日、党本部でギングリッチ氏と面談。その場に、教団の友好団体「天宙平和連合（UPF）ジャパン」の梶栗正義議長や米国の教団の元会長でUPFインターナショナルのマイケル・ジェンキンス会長も同席し、岸田氏と会話を交わしたと、ギングリッチ氏らが取材に証言している。ギングリッチ氏は面談について「UPFジャパンが手配した」とも語っている。UPFは、教団の創始者である文鮮明（ムンソンミョン）氏と韓鶴子（ハンハクチャ）総裁の夫妻が創設した団体だ。

岸田氏はこれまで「ギングリッチ氏との面談であるとの認識だった」「大勢の同行者の一人ひとりについて承知していない」と繰り返し、教団友好団体トップが同席していたという認識はなかったと主張。党本部などに面会記録や資料は残っていないと説明していた。

朝日新聞は、ギングリッチ氏から提供を受けた面会時の写真の解像度をあげるなどして調べ、岸田氏の手元の机の上に「リスト」と書かれた紙があることを確認した。この紙について、ギングリッチ氏は「面会の参加者リストで、誰が参加したかは明らかだった」と取材に文書で答えた。

リストに書かれていたのは8人。リストや関係者の証言によると、ギングリッチ氏とその関係者の2人を除く6人は教団の友好団体に所属し、UPFや別の友好団体「世界平和連合」の幹部らの名前が書かれていた。

朝日新聞が岸田氏の事務所にリストの存在や、改めて教団友好団体トップらとの面会の認識について文書で質問したところ「ギングリッチ氏との面談であるとの認識だった。従前の説明と齟齬はない」と文書で回答があった。

（編集委員・沢伸也、高島曜介）